



TOKYO CHUO SHIN ROTARY CLUB 東京中央新ロータリークラブ週報

例会日 毎週月曜日(12:30~13:30) 会場 帝国ホテル及びオンライン

会長 富田 洋平

幹事 石原 忠始

事務局 〒104-0061 中央区銀座8-11-12 正金ビル2F

TEL 03-5537-0270 FAX 03-5537-0271

<http://blog.livedoor.jp/chuoshin/>

2021-22年度 国際ロータリーテーマ「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」

例会報告 第839回 2022年2月28日(月) オンライン例会

出席率 54.72% 接続会員数29名+メーキャップ0名
(正会員58名-休会5名)

❖ 開始(上田美帆SAA 委員司会担当)

定刻となりましたのでこれより第839回例会を開催致します。

本日の例会の様子は当クラブのHPの記録のため録画致しますので、ご参加の皆様は、個人情報の許諾をお願い致します。

❖ 富田洋平会長 点鐘挨拶

皆様こんにちは!

いろいろ世界はロシアのウクライナ侵攻のニュースが連日連夜入ってきて大変なことになっていますね。民主主義とか社会主義とかNATOとかなんとかかそういうことは明言を避けまされど全世界で政治、スポーツ、特にパラリンピックとか大分影響が出てきています。武力の前では私たちって無力ですよ。何もできないと思います。なんですけれど、こういうのって思想とか文化とかそういう人とかもですね。一瞬にして何の理由もなく断たれてしまう可能性があること、これが本当にもったいなくて残念だと思います。私たちは武力ではないところでですね、いろんな方面で皆さん一人一人に強力な素晴らしい知識があったり力を持っていたりするものだと思います。一日も早くこういう戦いが収束して日々国際ロータリーのロータリアンの活動が平和に行われることを願いつつ今日も一日対応していきたいと思えますし、何もできないですけども今やっていることを平和につながるとして続けていくことが大事なんじゃないかというふうに思います。

それでは第839回例会を開催いたします。点鐘!

❖ ロータリーソング

「手に手つないで」

❖ ゲスト発表(安原良昭SAA 委員長)

オンライン例会によくぞおいで下さいました。

本日のお客様は、1名です。

本日卓話をしていただきます日本橋いづもや三代目
岩本公宏 様

❖ 海渡奉仕プログラム理事報告

皆さんこんにちは!

かねてより中央大学RACとのコラボ企画を進めていましたが、3月11日(金)夜「マイクロプラスチックストーリー」というドキュメンタリー映画のオンライン上映会を致します。参加は当クラブの会員、ロータリーアクトの皆さん、映画を見た後に皆で感想を共有するためディスカッションを致します。実はこの映画の監督さんが福元さんのお知り合いということで、また別の日に監督さんとこの映画について皆で考えるという会も実施したいと思っています。マイクロプラスチックに関してはSDGsの一つの大切な項目でもあります。私たちの身の回りを見るとマイクロプラスチックにあふれていて、どうやったらプラスチックを減らせるんだろう、昔はうちの近くにお豆腐屋さんがあって、入れ物をもって買いに行ったりとかあのしてたと思うんですけども、なんかそういう昔の時代を思い出してなんか工夫をしてみるとか、あと私の3年前かな、夏にニューヨークに行ったことがあります、そのときアメリカ人の友人が公園で落ちていたたぶんアジア系の観光客の人が落としたペットボトルを拾ってずっと持っているんですよ。私意味が分からなくて、「なんでゴミ箱そこにあるから捨てたら」と言ったら、「いやこれはプラスチックだからちゃんとしたところに捨てないといけないんだよ」と言って、昨日実はうちの家の前に公園があるんですけどもたぶん陽気がよくてみなさん外で食べて、ごはんのゴミですね。それがゴミ箱からあふれていたんですけども、強風でゴミが飛ばされて散々なことになっていたんですけど、なんかやっぱり悪気はないんだと思うんですが、ただ意識がちょっと違うというか、というところでロータリーの皆さんとSDGsについて考えようという機会にしたいと思いますので、3月11日の夜ですね、詳しいご案内はまた改めていたしますので、7時から9時まで空けておいていただければというふうに思います。よろしくをお願いします。

❖ 周年パーティーカウントダウンコーナー(時枝会員)

「東京中央新の歴史について教えて 時枝サン!!」

2001年発足から15周年までの歴史を振り返る。

1989年 RI女性入会を承認。

それから12年後の2001年7月東京中央新RC誕生
初代会長坂口美代子さん

2002年 初めての奉仕活動 聖明園への古切手寄付

2004年 スペシャルオリムピックス トーチラン参加

2006年 初の国際奉仕 サモア学校に書籍寄贈
 2008年 育成園サマーキャンプスタート!
 YEP ピーちゃん
 2009年 小堀会長
 アニメ上映会スタート!!
 泰明小学校画廊巡りスタート
 2010年 時枝会長
 ゴルフへたっぴの会発足
 東京マラソンボランティア
 2011年 東日本大震災
 2011-12年 岡田会長
 10周年記念式典
 「高田松原復興PJ」
 ロータリー日本委員会17クラブ合同
 松原苗床 公園設備
 ギリギリガールズの原点?
 2013-14年 石川会長
 育成園の中学生と被災地訪問 女川町
 指が浜
 2014-15年 石原会長
 日本アニメーション見学
 育成園高校生と懇話
 2015-16年 辻会長
 米山留学生 朱さん ホストクラブ
 被災地植樹ボランティア
 施設高校生にマナー研修(財団補助金)
 15周年チャリティ上映会「うみやまあ
 ひだ」
 2016-17年 野呂会長
 15周年式典

(時枝会員)

・福元さんがパワーポイントで資料を作って下さったのですが、すごく重要な部分を私が年表に入れ忘れていたことに昨日気づきまして、実はロータリークラブ自体が設立されたのがシカゴで1905年なんですね。2005年がロータリー創立100周年だったんです。100周年目の国際大会が実は日本でございました。日本の大阪で開かれたんです。うちのクラブは認証状をいただいたのは2002年ですので、まだ設立2、3年という弱小クラブであるにも関わらず実はその国際大会のブースにエントリーいたしまして、うちのメンバーが大挙して大阪の国際大会会場に乗り込みましてブースを展示いたしました。そのテーマというのは日本文化の発信ということで、A 4表裏カラーの素晴らしい英語のパンフレットを作りまして、たまたま呉服関係の会員の方がいらして、その当時高いお値段ということでなぜかプラチナの糸で作った着物という仕掛けみたいなそんなものを展示したりしまして、日本文化かどうかわからないんですけどもなにしろその展示するだけで保険金を4万円も掛けたとというような記憶があるんですけどまあかなり力

を入れまして女性陣が頑張ってお阪のブースに展示をしました。2日間展示をしたのですが、そのときの来場者数とかははっきりは覚えていないのですが、結構いろんな方が見に来てくださりまして、その行事というのが私の中で一番大きかったというのは、やっぱり皆で力を合わせて一つのことを作り上げていく。しかもあのとき、皆京都に泊まったんです。皆で展示とか終わって、タクシーで京都に戻って、みやこホテルかなんかに泊まっていたんですが、夜は夜でそれは楽しく過ごしたということを感じております。大変いい親睦にもなったかなと思うんですけどもただその展示を準備するにあたっていろいろこう意見の相違ですとかいろいろ難しい局面もありましたんですけどもそれはそれである当時のうちの女性メインのロータリークラブらしい活動だったなとそんなことを思い出しております。

その当時国際大会の実行委員長をして下さったのが今たまにお名前出ていますが、もうクラブにはいませんが、裏千家のお家元の千宗室さんです。会場がすごい国際大会用の会場だったものですから何千人も入るようなところだったんですけども、豆粒のように小さい顔を遠くから座って千さんの顔を拝見したのを覚えております。結構エポックメイキングというか特記するようなイベントとしてはそれが抜けていたのでまずそれを付け加えたいと思います。

- ・年表に関しては今週末にはもう少し整ったものが出来上がったならHPにリンクして飛んでいただければ何年にこんなことがあったなというような形にしていだいてもいいのかな。
- ・今までの会長さんでいらっしゃる方もたくさんいらっしゃるんですけども、一応全会長さんに20周年のご案内を出そうかなと思っております。2005年あたりの平本元会長とか藤田元会長とかにお電話でお声がけをさせていただきました。実は皆さんすごく楽しみにしていらっしゃいましてまた20周年でリアルなお話ができたらいろんなこと聞かれても面白いんじゃないかなと思っております。

✚ 20周年行事ご連絡(富田洋平会長)

- ・本日石川委員長から出欠について皆さんへメールが入っていると思いますが、実は本日Zoom画面上約30名が参加されていますが、当クラブ61名、名誉会員も入れて、そうすると半分くらいがここに集まっていたいてるのかなと非常に有り難い話なんですけれども、その出欠表に私の会長としての言葉も入れさせていただいております。一言でいうと、皆でお誕生日のお祝いやろうよということでございます。4月11日予定入ってるよなという会員も、それお父さんお母さんのお誕生日ならずらすでしょなんていう考えで、4月11日せっかくだから出席しようという気持ちになっていただけたらと文を作って一緒に送ら

せていただきました。もしメールをまだ見ていない会員がいるかもしれませんが、そういう方には「周年行事行きましょう」と伝えて下さい。一人でも多くの参加を募って盛大にやりたいなと思っています。行事の場では、ポールハリス賞、ロータリー財団寄付、米山功労賞の寄付に関して皆さん1万円とか2万円とかその都度やって下さっている会員もいらっしゃると思うんですけれども、ひとつのバーをクリアした方たちを表彰したいと考えています。顔写真なのか、壇上なのかそこはまだ未定ですけれども、あと少しの寄付でそのバーを越える方たちいらっしゃるかもしれません。たとえば米山は10万円単位になっています。積み積もって今18万円くらいになっている場合はあと2万円で寄付の対象になるかもしれません。財団に関しては千ドル単位になっています。もしお気持ちがあるようでしたら事務局に問い合わせたい範囲であったら寄付していただきたいと思っています。ただ日程上今週の金曜日を締め切りとさせていただきますので、今日の例会が終わったら事務局に電話して聞くのもいいんじゃないかと思えます。

- 先ほどマイクロプラスチックのお話が海渡さんからありましたが、今我々はどこかに行き奉仕活動をリアルにはできない状態になっています。これしょうがないことなんですけれども、それでもZoom上で考えを出し合って奉仕活動を担うこともできます。育成園のようですが、回答が来ているのは周年行事の子どもたちの声の出演を了解いただけてますし、中高生の卒業に皆さんの言葉を集めたものや贈り物をしたりすること、そして高校生卒業生に対しても継続的な教育活動も育成園からOKが出ていますので、これをしっかりすすめたいなと思っています。リアルで会えなくても画面上で子どもたちとつながって何かしらの皆さんの力を分けていただける機会を作ることができますので、是非ご協力いただければなと思っています。

■ 幹事報告 (石原忠始幹事)

- まん防が延長になりそうですが、会長とも相談して、来週3月7日の例会はハイブリッドで行いますので、ワクチン3回目接種終わった方とか大丈夫だよという方は是非実例会にご出席いただければと思います。
- 3月14日以降の例会につきましては、状況を見ながらご連絡いたしますが、場合によるとZoom例会の可能性もありますので、よろしくお願い致します。



「うなぎ四方山話」

日本橋いづもや三代目
岩本公宏 (いわもとたかひろ) 様



(ご紹介 城会員)

皆さんこんにちは。本日は日本橋いづもや3代目の岩本さんをご紹介させていただきたく存じます。鰻といえば日本橋いづもやさん、日本橋一粋な旦那と言えば岩本さん、日本橋のタイガーウッズと言えば岩本さんということで、コロナで鬱々としておりますが重い空気を明るく飛ばしていただきたいと思います。

それではタイガーウッズ、よろしくお願い致します。

(卓話)

過分なご紹介ありがとうございます。タイガーウッズと実は同じ年でございます。年のことをいうと怒られそうですが、実は城さんとも同じ年でございます。日本橋いづもや三代目の岩本と申します。本日はどうぞよろしくお願い致します。

- 先ほど20周年ということでおめでとうございます。私は日本橋西RCに所属しておりまして、実は今年で35周年になりまして、今度観桜会をやる予定ではあるんですが、そこで鏡開きをやって簡単ではありますが35ということで私も親睦副委員長という立場から焼き印を入れた纏を用意したり、酒屋さんに言って菰樽を用意したりそんなことをやっております。

私の父が日本橋西RCのチャーターメンバーだったもんですから、十年以上前になると思うんですが、急にロータリーを辞めるって言い始め、部屋に当時の事務局さんと会長さんなどがいらっしゃったんですがそこへ行ったらどうも私が入ることになってまして、江戸時代の政略結婚のように「じゃあお父様それで人数も減らないんでよかったですね」と言われ非常に微妙な面持ちだったんでございますが、そんなことで30代で幹事をやらせていただきましたそのとき石原さんとも一緒にさせていただいたり、ここに映っていらっしゃるかなりの方といろいろ懇意にさせていただきまして本当にありがとうございます。

- 本日「うなぎよやま話」ということで、私の仕事を本当に軽く喋らせていただこうかなと思います。

生まれましてお店の前に幼稚園があるんですがそこへ行きました。毎朝父に送って来てもらって店で下ろされて幼稚園が始まる時間に店の人間の誰かに送ってもらう、そして夕方誰かに店の空いてる人間が迎えに来る、そして夕方ないし夜に誰かと家に帰るというようなことで基本は私は小さいころから店が自分の中の基本でした。

それで小学校なんですが立教というところに入りました。それは私の意志ではもちろんないんですけれども、今考えると幼稚園のころからなんとか教室に行かされて今川焼あんこの入ってるやつを作られて売っていた記憶が今でも蘇るんですが、そのことで小中と立教に行くんですが、陸上部でかなりの記録を残したんですが陸上しかやってなかったものですから高校に上がれずスポーツ学校の目黒高校へ行きました。ラグビーやってる高校なんです。そこから日大に行きまして法律を学んだと、政治経済ですね、そういったものを学んだと。その中で実はもう小学校6年生くらいからその近く雀荘が多かったものですからお手伝いで勝ってるお客さんがうな重1個とか頼むんですね。

そういうのを名前とかそういう店の名を聞いて私が持って行ったりしてました。中学校になりますと中一、中二で今くらいの身長でしたので、出前とか中心にお手伝いしていました。そのうち色気付いてきてお手伝いじゃなくてバイト代がほしいということになりまして、高校くらいから夏休み春休みはほとんどバイトしてそして自分の生活費とかを稼いでました。そして大学に入りますと実は私夜に大学に行っておりまして、朝は父と築地に行っておりまして。そして昼は店で働いて、そのうちもう調理師免許を取りまして今でも持っているんですが、当時都知事の青島幸男さんということで非常に思い出に残っております。大学の時もそうなんですが、小さいときから食べることが大好きで小学校の文集に趣味：食べること、食事、結局同じことですが、そのくらい食い意地がはっておりまして毎朝築地に大学時代行っていたというのも朝からカツカレーの大盛を食べるのが毎日の日課でございまして、それでこんなに体大きくなっちゃったのかなと思うのですが、そういうこともあって食事につられてやっぱりお昼に食べる板前が作る賄いですね、これがもうおいしくてですね、本当もう食い意地が張ってるものですからそれは今でも変わらないんですがそんなことで店で働いていたように思います。

● 祖父の開業

大学時代に自分でもお金を貯めていろんなところへ食べ歩きをしておりまして、その中でこれはということで横浜の関内にある明治5年創業の若菜といううなぎ屋さん自ら弟子入りし、2年間勉強させていただきたいとお世話になりました。丁度1年経った桜の咲く季節の時、私おばあちゃん子だったんですが、祖母が他界してしまいました。元々病気もあつたんですが、祖母というのが私の人格をまあ形成してくれたといっても過言ではないかなというふうに思っております。私の祖母つまりこのお店を興したのが祖父で、私で三代目になるんですが、祖父は戦前から大阪かなんかに修行に行っていてそして東京へ戻ってきて別の場所にお店を出したのですが、戦後この場

所でいづもやとして最終復活を果たしたわけなんです。その後千葉の木更津の方から嫁をもらいまして、祖母ですね、そして父が産まれる。丁度昭和26, 7年でしょうか、祖父が44歳くらいで他界してしまうんですね。私の父がまだ5歳で祖母が30歳になるかならないかで未亡人になってしまい、本当に途方に暮れたというふうに祖母は言っておりました。ですが、結局その後も木更津から弟を呼び寄せて経理・調理を手伝ってもらいながらそのころ又15歳、18歳の若い職人さんもありましたので、そういう手助けもあって店をなんとかやってこれたと、だけど一番助けていただいたのはお客様なんだよというのは常に申しておりました。

ですので、私の祖母は生前毎朝仏壇にお盃を取替えることをやるんですが、そういったとき必ずお世話になったお客様のお名前を一人ひとり読み上げるというような感謝の気持ちを忘れないというようなことをやっていた記憶がございます。

そんな祖母に育てられたものですから「この店を継ごうと思ったのはいつですか?」とか「最初からうなぎをやると思ってたんですか?」などと言われるんですが、特に継ごうとかうなぎをやっていこうとかそういうことを思ったことはなくてですね、あの先ほどからお話させていただいたとおり、ずっとこの店にいてここが家みたいなものでしたので、特に何かうなぎ屋をやるうというものもなく、バイトになり、修行に行つて店に戻つてきて、そして給料をもらうようになり、また立場が立場ですので若輩ではあつてもそういう気でいられる自分というものがいて、そういうふうなものを客観的に見たときにやっぱり自分の中に店をやっていけるんだろうかというようなプレッシャーはございます。

● 三越出店を任される

ところが2年程たった2003年日本橋の三越に出店するという機会をいただきました。その前年に4日間だけ出させていただいたんですが、まあありとあらゆることをやってとりあえずまず売上を作ろうということでその4日間うなぎの試食というものをやりました。これは前代未聞なんですが、うなぎの試食やったら皆来ますよね。で、そんなことで知っていたかないと4日間ですから、ただ出てるだけでは意味がないということで、うなぎの半身のセットで1000円として、当時はうなぎもまだ安かったのでもんなこともやったりしてそんなところが認められたのか三越に出るようになりまして、それが私が26, 7のころだったんですが、三越店長として赴任しまして、そして今に至るんですが、ちょうどもう20年経つんですね、なんとか軌道に乗ってやっています。というなかで私がずっと三越に10年くらいはいたものですから、2010年くらいですか、東日本大震災くらいの前に本店の方に戻つてくることになるんですが、その時

も含めてやっぱり「人というのは大事だな」と思ったのと「仕事というのは何をしておいても人間関係がすべてだな」というのを感じたんですね。私はもちろんサラリーマンとか会社勤めをやったことはないのですが、その中で唯組織の中に常には身を置いておりました。その中で常に垣間見るのは、誰と誰が仲がいいとか、もちろん仲が悪いであるとか、まあそういうことが離職の原因になったりもしくは職人というのは一匹狼みたいな人間が多いわけですね、そうすると誰かと誰かがぶつかったということによってそっちの派閥が皆辞めてしまうであるとか、過去を見てみるとそういうことももちろんありました。でも、26, 7歳で店長として赴任したんですが、周りにいる職人ですとか販売員の方なんかは皆私より年上で下手すると自分の親みたいな人もいました。

- 本店に戻り職人さん・板前さんと共に働く

あとまた本店に戻ってきたとき、本店には本館と別館と建物が2つありまして、でそれぞれうなぎの職人さんと板前がいるんです。当時戻ってきたときは私も父も病気などもしましてあまり現場の方も見れなくなりました。任せっぱなしになっちゃったんですが、本館と別館の板前が仲が悪かったということもあるんですね。例えば、豆腐1個の貸し借りもできなかったということもあっていました。お恥ずかしい話なんですけど、私思いましたのが、50何年の職人とかもおりますのでそういった人間に、勿論頭ごなしに何かをやってくれたとか言わないようにしているんですが、まず何をしたかという、私の考えもしくは父の考えを職人に伝えるときにですね、「こうしてほしい」ではなくて、我々が考えているようなことを職人が自ら導き出してくれるような会話をしたんですね。例えばアイスクリームを食べたい。アイスクリームを買ってきてと言っても買ってくるわけではないですよ。そこで「今日は暑いですね。皆が喜ぶようなことをしてあげたらもっと皆の空気がよくなると思う。何がいいですかね。そういう簡単にコンビニくらいで買えるもので。」そうすると職人の方から「アイスなんか買って来ればいいんじゃないですか?」という答えが出てくる。そのときにそれをすごくこちら側が認めてあげるといえるのか、「素晴らしいことだね」ということで、「じゃ、お金はお店で出すから、それをあなたの考えということでやっちゃってくれ。」と言えると、その職人さんなり板前さんの功績になる訳です。そうするとその人もすごくいい気持ちになりますし、また職人とか板前は完全なるタテ社会ですから、上の人間が「こうしよう」と言ったら社長である私の父や私が言うよりも逆に効くんですね。一発で「こう」と言ったら「はい」って、「はい」か「Yes」しかない状況ですから、あのそうするとすごく統率が執りやすいというようなことをこの10年から20年の三越生活、またこっちに帰ってきてからのそういったもので学んだな

という風に思っております。

- 若手を育てる

この20年でそういう言葉が生まれてきたと言ったらいいいんでしょうか。昔は「24時間戦いました」などということが当たり前だったんですが、いまでは職人さん、板前さんであっても「ブラックだ」という風に言われてしまって耐えられないというような話も聞くようになってきました。そこでうちのお店では一番育ちにくいと言われている若手をどんどん育てて、育てては3年くらいでどんどんほかの店に出す、そしてまた新しい子を入れるというようなことでどんどん若い人材を育てるということをやって、すごく手前味噌なんですけど、うなぎ屋さんですとか和食のお店ではすごく画期的で他のお店ではなかなかたぶんやりたくてもできないんじゃないかなという風に思っています。ですけど作り手がこの先団塊の世代が抜けていってなくなってしまうとおそらくこういったうなぎを提供するっていうことすらもできなくなってくることに繋がってしまうのでそういうことを第2の鯨、どじょうじゃないんですが、あの食べなくていいよというものにならないように若手を育てて、これから10年後、20年後、30年後の未来にもうなぎ屋さんがちゃんと成り立つように今若手を育てております。

なぜ若手が辞めないかというのはですね、どんどん仕事をさせてあげるといってこれに尽きるんですね。彼らはうなぎの職人もしくは和食でもフレンチでもなんでもそうなんですけど仕事をしたくて入ってきます。そして夢を見てます。こういった板前・職人として一流になりたいと。ところが大体のお店が昔ながらでほとんど雑用しかやらせてもらえないんです。それで志半ばにして、まだその業界に残ればいいんですが、その業界から抜けてってしまうんですね。いろんな人から話を聞いていても自分だったらどうだろうというふうに考えました。勿論雑用ばかり修行中はやってまして私が修行中の2年に覚えたのは我慢と忍耐なんです。それはすごくいまだに役に立ったなあという風には思っていますが、実際変われば今の子に我慢忍耐と言っても勿論その我慢忍耐強い子もいるんですが、私個人的にはどんどん仕事をさせてあげつつも雑用も勿論やらせてもらおう。雑用をやるってことは今後後進を教えていくにあたってすごく大事なことで、これは絶対おろそかにしてはいけなくて、だけど3年でたとえばうちでしたらウナギの仕事を焼く、串を打つ、それからウナギを割くということとをどんどんできるようにさせてあげる。この3月に一人旅立っていますが、卒業という形をとっています。彼はもうウナギも割けますし、下手な職人よりも串は上手い、そして焼いてもそこそこ焼ける、だからまあこれからいろんなお店を知ることでいろんなやり方を見ることができる。つまり職人としての巾ができてきます。そうするとどこの店へ行っても一つのやりかたしかやれ

ない。つぶしがきかないんですが、他のお店に行くことで、また見識を積んでここにはこういうやり方もあるんだ、また他のお店へ行ったらこういうやり方もあるんだというところで引き出しを増やしていくという作業をしてもらう。それが今度自分が親方というか頭の立場になったときに後進を指導できるひとつの宝物、財産になるんじゃないかという風に思って、職人の会があるんですが、そこの会の会長さんとも一緒になって、そしてうちの職人の頭も一緒になって職人を育てるということもしております。その甲斐があって職人の数も増えまして、この2月からめでたくうちは週休2日制に遅ればせながらもなりました。板前職人の世界では週休2日制をやることはなかなか人数もいりますし、またまん防が延長になるってことでお店も本当に半分になるときもあれば1割2割というような状況、やはりやるべきことはきっちり毎日やっていく。そして休みを増やすことで職人の指とか手が荒れるものを回復する時間にもなりますし、またリフレッシュにもなればそれはもう言い古されていると思うんですがよい仕事ができるというようなことでよりいい仕事でよりいいうなぎをよりおいしくお召し上がりいただく。それによって我々働く側もお客さんもウィンウィンになれるんじゃないかなということでそんな取り組みをしております。

• うなぎの生態

今度は変わらして、うなぎの生態の話をちょこっとさせていただこうと思っております。これはいろんなところで情報を耳にされている方もいらっしゃると思うんですが、うなぎはどこで生まれるかという話、よくマリアナ海溝、グアム島あの辺の南の島で生まれるんだということは、皆さん聞かれたことがあるんだと思うんです。ところがですね、うなぎが卵を産んでとか、その卵から稚魚が孵化をしたのを自然界で見たことがある人は実は誰ひとりとしてまだいないんです。一度テレビカメラでおさえたのは、もしそういうことがあれば明日にでもNHKスペシャルとかダーウィンが来たとかあいう番組で取り上げられるくらいのすごい偉業なんですね。世界には19種類うなぎがいると言われてます。我々がふだん食べているのは日本ウナギというものです。日本ウナギが大体日本海、中国あたりで成長しまして、大きくなって黒潮を遡って南の海で卵を産み、そこで生まれた稚魚、平べったい形をしています、日本沿岸にたどり着くころには白魚みたいな形になり、しらすうなぎというものになって、それを獲って養殖して餌をあげて育てたのが我々が普段食べてます養殖うなぎになります。川で育って大きくなったものを獲って食べれば天然鰻ということなんですが、実はなんでそれがわかったかと申しますと昔東大にすごい先生がおりまして実は虫取り網の30メートルくらいある巨大なもので海洋上に大きな升目をつけてひとつひとつの

マス全部調べてしらみつぶしにその網でいろんな細かい生物をすくっていき、それを顕微鏡で見て、DNA検査をやって、ウナギの稚魚が果たしてどのくらいいるのかというところを調べるからうなぎの回遊ルートを調べていったんですね。そしたらその南のほうに行くにしたがって稚魚がどんどん小さくなってきた。そしてグアム沖のマリアナ海溝あたりに行ったらおそらくこれが卵から生まれたばかりだろうというくらい小さいうなぎの稚魚が獲れたんですね。なのでおそらくその辺が産卵海域じゃないかという風に言われております。でこれが泳ぐ力がないもので、黒潮に流されて中国の沿岸から台湾そして九州から四国、静岡のあたりに流れ着いてくる。それがしらすうなぎでございます。実は今から7、8年前の2015年2月28日にフェイスブックを開いてましたら丁度私鹿児島島の養殖場におりました。それを見てたらしらすうなぎ、なんと当時1キロ150万円でした。ピンと来ないと思いますが、一匹0.2グラムくらいです、約5000匹で150万円。ところがその2、3年後にはなんと過去最高の350万円とか400万円という値段をつけたこともあります。しらすうなぎがなんでこんなに高くなってしまったか、それはですね勿論川の護岸整備で親うなぎが住む場所が少なくなってしまうというのはひとつあると思うんですが、そのほかにしらすうなぎを獲れるだけ獲ってしまっているという弊害もあるというふうに思っております。

ただ我々養殖うなぎをほとんど100%使っておりますので、そのしらすうなぎが獲れなくなってしまうとどうにもならない、商売ができなくなってしまう状況にはなっています。ですが、実は我々うなぎ屋さんが使っているうなぎの量というのは全流通量の約2、3割にしかすぎません。じゃあその残りの6、7割はイオンとかM&Iとかオリジン弁当、吉野家、すき家、そういった牛丼屋さんで使われている「箱うなぎ」と言われているもの、スーパーなんかでも売っているあれが実は全流通量の6、7割を占めているのです。昨今フードロスの問題もありましたので、売れ残ったものを廃棄するというような事例も生じておりました。ですから我々うなぎ屋としてはスーパーであるとかそういうものを食べてはいけないとは言いませんが、できればうなぎを食べるんだったら職人がそうやって作っておいしく調理をする文化を残すためにもうなぎ屋さんで召し上がっていただきたいということを常日頃申し上げております。

• うなぎの毒

うなぎのよもやま話はこれぐらいにしまして、皆さんが聞いたことのないうなぎの特徴をひとつお話しさせていただくと、実は生きているうなぎの血には毒があるというのは皆さんご存知でしょうか。

フグにはテトロドトキシンという猛毒が含まれていることは勿論知られているんですけども、これ養

殖のフグにはないんですね。フグというのは、天然のフグ、トラフグとかもそうなんですが、えさを食べているうちにえさの中に含まれているほんの微量の含有量の毒がどんどん肝臓にたまっていってしまうんですね。えさをどんどん大きくなるまで食べ続けることで肝臓にものすごい量の毒がたまってしまって、それでフグには毒がという話なんです、うなぎにはなぜか血に毒がありまして、ですので、うなぎを割いているときに目に血が入ってしまうと、そのあともう目やにが止まらないくらい、黒目と白目の境目がわからないくらい真っ赤に充血してしまいます。ところが火を入れてあげると5、60度本当に炭火で1分2分であっという間に無毒になってしまう、そしてそれがうまみにもなるというのがうなぎの特徴でございます。これは実はあがったうなぎ、要するに死んじゃったうなぎは割かないと申しますのは、死んだうなぎは血の気が失せていまして穴子みたいに真っ白な色をしているんです。ところが生きたままのうなぎを割きますとピンク色をしています。そして身に弾力がありまして、この状態で串を売って焼いてあげるからこそ焼き上がりがふっくらしてくるんです。ですからふっくらしていないうなぎを食べたときは、これはもしかしたら古いうなぎかあがっちゃったうなぎなのかなと思っていればわかりやすいかなという風に思います。

• うなぎのオスとメス

また、皆さんがうなぎ屋さんで食べているうなぎはほとんどオスなんです。これはご存知かわからないんですが、うなぎはもちろんオスもメスもいます。完全養殖は待ち望まれていまして、今技術的にはできております。完全養殖によって試験管の中で生まれたものがもう第二世代、第三世代ということで、一応技術的にはできてはいるのですが、まだ商業化ベースに乗るといところまではいっていません。それで養殖うなぎはほとんどがオスなので、完全養殖の際は女性ホルモンを注射してメスを作らないといけないという作業ができています。なんでオスが多いのか、これはまだわかっておりません。おそらくしらすうなぎを河口のあたりで獲ってきて養殖にて餌をあげて育てるということをやったそのストレスによって全部オスになっちゃうんじゃないかという風にいわれております。ですので、自然界の天然のうなぎを獲てきますと、10匹中メスは何匹かはいるということで自然界ではそういうことはないんですが、やはり養殖というのは生体にストレスをかけてしまうのかなと思っております。ですので、最近では生体にストレスをかけないような、うなぎもあまり過密にしないように自然界になるべく近いような環境で育ててあげるような養殖うなぎも出てきてまして、その中からは卵巣を持ったメスのうなぎも見つかっておりますので、本当に鰻という生物は生きているなあという風に日々扱いな

がらも思っている次第です。

• うなぎの文化

うちの店ではうなぎを仕入れまして、毎朝たれに浸けず焼き上げまして、そしてその本当に白焼きの状態で私の父を含め職人皆で味見をしてためなら全量を問屋へ返品するというをやっております。あの、やはりうちのお店にいらしておいしいうなぎを召し上がっていただけなかったとなると、やはり次から足が遠のくというようなことにもつながってしまいます。やはりおいしいうなぎをお出しするために我々は最低限何をできるかというようなこと、それは冒頭にも申し上げましたが、職人同士が風通しがよかったり、仕事が円滑にいくとかそういったことも含め、これからうなぎの文化を後世に残していくためにやるのが、それが私たちの仕事なんじゃないかなという風に思いながら、あのロータリーの活動でもかなりいろんなことを役職にも関係なくたくさんやらせていただいているんですけども、まあそういうことも含めてですね、まだまだこれから勉強して、10年後20年後もおいしいうなぎを召し上がっていただけるようにしていけたらいいなという風に思っております。こんな感じで足早ではございますが、ちょっと早いですが卓話を終わらせていただきたいと思います。どうもありがとうございます。

(要約文責 宮下)



富田 洋平 会長

昨日、都内は春を思わせる陽気で御座いました。

湯島天神の梅は今週末が見頃との事。世界も国内もぎくしゃくしているので、癒されに梅でも観てこようかなと。

大盛 敬子 会員

本日の例会も欠席となり大変申し訳ありません、外出先より20周年事業、イベントのお知らせを遠方より失礼致します。どうぞ金子バンド演奏の歌や踊りの参加をお待ち申し上げております。奮ってご参加のほど、何卒宜しくお願い致します。

高橋 肇 会員

いつもやの岩本さんの卓話楽しみにしております。本当に美味しいので皆様も是非食べに行ってみて下さい。ニコニコします。

にここご合計 7,000 円

例会報告 第840回 2022年3月7日(月) ハイブリッド例会

出席率 62.26% 出席と接続会員数33名+メーキャップ0名
(正会員58名-休会5名)

❖ 開始 (高橋肇SAA 委員司会担当)

定刻となりましたのでこれより第840回例会を開催致します。

本日の例会の様子は当クラブのHPの記録のため録画致しますので、ご参加の皆様は、予め個人情報の許諾をお願い致します。

❖ 富田洋平会長 点鐘挨拶

皆様こんにちは！

それでは第840回例会を開催致します。

❖ ロータリーソング

「君が代」



❖ 卓話者・ゲスト発表 (安原良昭SAA 委員長)

オンライン例会によくご参加下さいました。

本日のゲスト9名です。

- ・東京南ロータリークラブ 渡辺 弘二 様
- ・安原会員ご紹介 石居 茜 様
- ・桜美林大学 芸術文化学群 音楽専修
松岡 邦忠 教授
- 4年生(ホルン) 齋藤 茜 様
- 4年生(サクソ) 土屋 勇斗 様
- (クラリネット) 大高 吏於那 様
- (ホルン) 沢口 蓮 様
- (トランペット) 池上 輪大 様
- (打楽器) 近藤 涼太 様

❖ 2月と3月のハッピーバースデー

2月

時枝紀子会員 (25日生れ)、

鈴木隆志会員 (12日生れ)

3月

南章乃会員 (2日生れ)、

大盛敬子会員 (6日生れ)、

石原忠始会員 (28日生れ)



❖ 周年行事カウントダウンコーナー (上田美帆会員)

現在パートを担当している上田です。チームリーダーの海渡会員欠席のため、私からお知らせ致します。

各パートに分かれ、今までの歴史を取りまとめております。現在パートは、秋葉年度からの5年間についてまとめております。私もこの5年位の会員でまだ若輩なのですが、秋葉年度から当クラブも随分発展変革して

いったと思っています。秋葉さんのパワフルなリーダーシップでかなり増強したので、中規模・大規模なクラブとして他のクラブからも「中央新さんはすごく大きなクラブだね」と言われるようになったと思います。その後もますます発展していったわけですが、この中で一番大きな行事が、いわゆるインド例会といわれるものでして、ご参加された皆さんは思い出深く覚えていらっしゃると思います。ある日突然インドのロータリークラブが100名程でいらっしゃるということの一報が入りましてそのとき私はSAA委員長をしていたんですが、まあ仰天しまして、本当に大変だったということをよくよく覚えております。福元会長のチャレンジ精神が成功に導いてくれたというふうに思っておりますが、清宮幹事のリーダーシップでその下の我々が本当に皆さん奮闘されたと記憶しています。文化が違うというのはこんなに対応が大変なものかと、そもそも何人来るかもわからず、ベジタリアンなのかどうか？ 何を出してよくて、何を出してはいけないか、どういうふうなおもてなしがいいのか、分からない中で精いっぱいやって、うちのクラブの歴史、思い出となり外から頑張ったとの評価も得たのではないかと思います。

その後はコロナで、早々とオンライン例会をスタートし、今の富田年度に至るまでかなり注目され主導的な役割を果たしてきました。そんなところをまとめておりますので、皆様と思い出を共有しながら、周年行事に向けて進めて参りたいと思っております。

❖ 連絡事項 (富田洋平会長)

- ・先週育成園の子どもたちにビデオメッセージ録りを行いました。素敵なお返事に仕上がっています。加えて、小学校6年生には文房具を、中学校3年生にはワイヤレスヘッドホンを贈る予定です。



高校3年生お二人(1人社会人へ、1人進学へ)には、3月下旬にお祝いとエールを贈る勉強会を開催し、ロータリアンと中大RACが得意なところを一人15分くらいでお話しいただく予定です。今後もOBの子も入れる勉強会を3ヵ月毎くらいに続けていきたいと思っています。

- ・周年行事に向けて会員の皆さんの顔とメッセージを業者さんを入れて録らせていただきました。ご協力ありがとうございました。
- ・中央区社会福祉協議会とコンタクトして、当クラブとして今できることのある団体を捜してもらっています。
- ・最後にマイクロプラスチック上映会について

3月11日(金) 18時50分からZoomで2時間

映画を見て、その後ディスカッションをします。見逃し配信も3月12日以降予定しています。4月に佐竹監督を交えてディスカッションを考えています。

✚ 幹事報告 (石原忠始幹事)

- 本日は例会後理事会があります。
- 来週の例会はZoomとなります。

✚ ミニコンサート

(ご紹介：中西ふじ子会員)

私が勤めております桜美林大学芸術文化学部の音楽を学んでいる学生さんです。今日は大学が地域で行っている活動についてお話し、その後実際の演奏を聞いていただくかと思っております。



(松岡邦忠教授ご挨拶)

桜美林大学で20年以上音楽を教えています。学生たちはやりたいことを沢山持って入学してくるので、それを伸ばすように任せてきた結果今の不思議なる演奏になっているのでよろしくお願い致します。



(学生報告)

私たちは去年2回程地域の皆様の前で演奏の機会を頂きました。幅広い年齢の皆様楽しんでいただきたても有意義な時間でした。



学生生活の半分の2年間でコロナ禍の中で外への演奏会はあきらめかけていたところ、ご依頼をいただけたことでとても嬉しかったことでした。

演奏後に感想や楽器について質問をいただいたりなど交流の時間とても刺激的でした。

私たちは2月に卒業公演を行い、3月18日に卒業となりますので、本日が6人での最後の演奏となります。皆様楽しんでいただける演奏にしたいと思いますのでどうぞよろしくお願い致します。

(演奏会)

4曲

オーシャンゼリゼ
ブリリアントダンス
七夕
星条旗よ永遠なれ



(要約文責 宮下)



- | | |
|----------|--|
| 富田 洋平 会長 | 桜美林大学の皆様
ようこそ、東京中央新RCへ。
本日が豊かな一日となりますように。 |
| 石原 忠始 幹事 | 本日、運転免許証の更新をまいりました。
ゴールド免許なのに、高齢者の為、3年間だけだそうです。
誕生日の月なのでニコニコします。 |
| 太田 一彦 会員 | 久しぶりの対面例会。ニコニコです。 |
| 大盛 敬子 会員 | 早く皆様とお会いするのを楽しみにニコニコ致します。 |
| 中西ふじ子 会員 | 春の使いを音楽とともに
若い学生さんのパワーある演奏をどうぞ |
| 西村美寿穂 会員 | 久しぶりの対面例会うれしいです!
花粉症も始まりましたが、吹き飛ばようにニコニコします! |
| 野呂 洋子 会員 | 銀座ギャラリーズという銀座の町内会組織で、無料イベントをします。
パンフレットをお持ちしておりますのでお持ち帰りください。 |
| 圓井 順子 会員 | 無事に決算おわった!のでニコニコします。 |
| 水野 珠貴 会員 | 久しぶりのリアル例会でうれしくてニコニコします。 |
| 南 章乃 会員 | 今日はお誕生日プレゼントを頂戴できるので先にニコニコしておきます。
ありがとうございます。 |

にここご合計 20,000 円

クラブ週報
編集担当

宮下 文夫・山田 桂子・小堀 彰・
川口 恵・金子 健彦・諏訪 智美・
大石 由梨枝・白坂 亜紀